

事業所名 アシスト・ケア プラス (第15回)

運営推進会議開催報告書

| 開催日時 令和5年 9月14日 13時30分～14時15分 | |
|--|---|
| 参加者 | 議題 |
| 利用者 1名 | ①前回の運営推進会議の振り返り②事業所の特色③利用者の構成④職員資質向上の取組み⑤苦情、事故、ヒヤリハットの事例⑥事業所で内外での活動⑦ボランティアとの連携⑧避難訓練⑨地域から課題や要望⑩その他 |
| 利用者家族 0名 | |
| 地域住民の代表者 1名 | |
| 市職員 1名 | |
| 地域包括支援センター職員 1名 | |
| 事業所 2名 | |
| 会議録 | |
| <p>1 14回運営推進会議の振り返り コロナ禍の為、書面開催</p> <p>2 事業所の特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活動作に即したマシン運動（起立運動・浴槽の跨ぎ動作、等） ・入浴（個浴2つにて対応） ・昼食の提供（織部焼の陶器を使用） ・口腔機能訓練は看護師と歯科衛生士の指導を基に実施 ・認知機能低下予防として「くもんの学習療法」を取り入れた頭の体操を行います。 簡単な読み書き計算、音読をすることで、前頭葉が活発に動き、認知症の予防改善に効果的です。FAB、MMSE の認知症テストを半年後に実施したところ、数名の改善結果がみられました。 勉強ではなく楽しく取り組むことで、頭の活性化や声を出しての機能向上を実施しております。 ・新サービス「くもんの脳トレ」について 脳の健康教室、くもんの脳トレ、学習療法 <p>3 利用者の構成（実績） 利用者数約40名 男女比3対7 平均介護度2 平均利用者：日/15名</p> | |

4 職員資質向上の取組み

- ・概ね 2 ヶ月に1回、運動方法の見直し及びサービスの統一化や困難事例の対応方法などを話し合っている。
- ・学習療法の教材見直しは FAB,MMSE の適性検査にて、適切な課題の検討。
- ・外部講師（歯科衛生士、フットマッサージ）を招いての講習を実施。

5 苦情、事故、ヒヤリハットの事例

- ・補聴器行方不明→口に入れてしまった。対策→耳に入れるまで確認
- ・車両物損→警察と連携
- ・転倒→座位にて居眠り?? 対策→テーブルに出来るだけ物を置かない

6 事業所内外での活動

運動会、夏祭り、喫茶、おやつレク、アピタお買い物

利用者より→皆で食事に出かけたいと希望有

7 ボランティアとの連携

- ・手品鑑賞、フットケア、落語、フラダンス、パンの移動販売（障害者施設）、フルーツコンサート、笑いヨガ、雪印乳業の健康講和

8 避難訓練

令和5年9月14日（2階入居者と合同訓練）

台所より火事の想定にて、車イス移動を利用者さんにも手伝ってもらいながら駐車場に避難。

次回、令和6年3月予定

9 地域から課題や要望

パン以外にも、障害者施設の移動販売があるので検討してみてください。

10その他

2階入居者の方より、デイサービスがどのような事を行っているのか実際に見る機会がないので、他のメンバーも含めて社会見学をしてみたいとの声があった。

ご希望があれば、見学可能と伝えた。